

<金標準、イランと為替の不確実性に 21000 円の攻防・・・>



(出所：オアシス)

日銀は 8.4 兆円規模の円ドルで円買い介入を実施し、週末には NY 連銀が円ユーロで円買い介入を実施するなど、円安の勢いを止める介入を実施している。特に日米協調介入は、2011 年以來の 15 年ぶりの介入であり、為替市場の円ドル相場は 23 日の 163.93 円から 3 日には 157.87 円まで円高・ドル安の動きを見せている。特に中東情勢で、トランプ大統領はイスラエルと共同でイランへの大規模攻撃を示唆し、原油価格の高止まりを見せるなど、金利高の動きに NY 金は 4100 ドルを下回る 4075 ドル付近まで下値を模索しており、週末の日米共同介入を受けた円高・ドル安の動きは、金標準先物の円建て価格にとって悪材料が重なっており、そのため 21052 円まで下値を模索している。特に米国のイランに対する大規模攻撃は一時的に停止を示唆し、イランの出方を待っている雰囲気であるが、条件が厳しくイラン革命防衛隊の同意が得られる可能性は低いと見られる。そのため為替介入とイランの不確実性が高く、21000 円を下回る値動きに注意が必要に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り下げ、シグナルも上昇が止まり。RCI は短期が切り下げ、長期も下げている。特に指数平滑移動平均線のレンジを日足が下回り、21500 円で抑えられた雰囲気も強く、戻り売りの動きに注意したいと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,175,000 円(2026 年 8 月 3 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 97,680 円(2026 年 8 月 3 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>